

本調子

[illegible]

四	さ
合四上	とうがす
中	る
工	か
合	
五	な
七	さ
工	は
合五四	だがな
合	さ

中	か
工	な
上	さ
合	
中	とう
工	しか
合	さ
乙	び
四	か
合	
四	さ
上	
工	び

中	ち
合	む
王	ぬ
上	か
中	な
上	さ
四	
工	
合	
工	
五	

七	ちむ
合五七	がな
五	さ
工	ら
合五中	や
工	
上	うみ
○	ー
中工上	かな
	さ
	ら

[illegible]

肝がなさ節

本調子

2/2

一、里がするかなさ 肌がなさかなさ
(さとう)

年重び重び 肝ぬかなさ
(としかさ) (ちむ)

肝がなさらや 思みーかなさらや
(う)

二、肝や肝しちど むていなしんさびる
誠肝 我肝 里がままに
(まくとうちむ) (わちむ)

肝がなさらや 思みーかなさらや

三、二人が情花 花咲かす夜や

(たい)(なさきばな) (ゆる)
ゆくん肝がなさ まさていかなさ

肝がなさらや 思みーかなさらや

四、世間や走川ぬ 夢ぬ間やあやていん

(しけ)(はいかわ)(いみ)(ま)
互に肝がなさ しちよて浮世
(たげ) (うちゆ)

肝がなさらや 思みーかなさらや

五、男生りとして 女生りとして

(いきがんま)(いなぐんま)
かなさねんむぬや ただの葉ガラ
(ふあ)

肝がなさらや 思みーかなさらや